

図書館 これまでの20年 とこれからの20年

今井福司（白百合女子大学基礎教育センター）

1. これまでの20年

- 制度の進展
 - 学校図書館法改正（司書教諭12学級以上必置, 学校司書の項目追加）

1. これまでの20年

- 制度の進展
 - 「学校図書館図書整備等5か年計画」の継続
 - 学校司書のモデルカリキュラム

1. これまでの20年

- 制度の進展
 - LIPERによる専門職（学校）の提唱

1. これまでの20年

- 実践の蓄積
 - 先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース

1. これまでの20年

- 実践の蓄積
 - 各種団体の継続的な研究会の開催

1. これまでの20年

- 遅れている分野
 - オープンアクセスどころか電子化もまだで、学校図書館実践、研究書の電子化すら進んでない。

1. これまでの20年

- 遅れている分野
 - ICTについては極端な言い方かもしれないが、2000年初頭の情報メディアの活用の教科書を軽く手直しすればまだ通用するような現状。

1. これまでの20年

- 「ヒト」「モノ」「カネ」の不足
 - 詳細はウェブで。

1. これまでの20年

- 研究者の不足
 - 学校図書館の研究者はResearchmapによれば30名程度。

2. これからの20年

- 学校図書館とアーカイブの関係
 - 実践や学校図書館活動を少しでもWebに残す

2. これからの20年

- 学校図書館とアーカイブの関係
 - 学校図書館がアーカイブとなる

2. これからの20年

- 他流試合の必要性
 - 他分野の方の参入を歓迎する土壌であるべき

2. これからの20年

- 全体の底上げのための研修を増やす
 - 講演会ではなく、ワークショップ型、それも年々レベルアップすることを前提とした研修

2. これからの20年

- 関係者をたくさんつくることの大切さ

2. これからの20年

- 関係者（研究者）をたくさんつくることの大切さ

2. これからの20年

- イメージを変えるor変えない？
 - 読書イメージはメリットなのかデメリットなのか。

2. これからの20年

- 誰にもできること？誰にもできないこと？

2. これからの20年

- 学校教育とは？学校図書館とは？

2. これからの20年

- 人口減少時代に何ができるのか？

2. これからの20年

- ご静聴頂き、ありがとうございました。